

## 1 一般犯罪情勢

2018年にドイツでは555万5520件の犯罪が発生しましたが、窃盗犯が全体の約35%を占め、その発生件数は193万6315件にのぼります。

これは、2018年の日本の犯罪発生件数81万7338件の2倍以上に当たり、ドイツでいかに盗難に注意しなければならないかを指し示しています。

日照時間が徐々に短くなる9月以降は、夕刻の時間帯の室内灯の点灯状況で留守宅の判別が容易になってしまうため、特に空き巣に注意する必要があります。

### <空き巣対策>

- 自宅を留守にする際は、ドアと窓の戸締りを確実に行う。
- 自宅を留守にする際は、留守宅であることを外部から悟られないように、室内灯やテレビをつけておく。
- 自宅を長期間留守にする際は、タイマーコンセントやスマート照明を活用して、室内灯を点消灯させる。
- 自宅を長期間留守にする際は、郵便受けに郵便物がたまらないように隣人に回収を依頼する。

## 2 邦人の被害発生状況

当館管轄のハンブルク州、ニーダーザクセン州、ブレーメン州、シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン州でも、邦人の盗難被害が発生しています。特に、空港、ホテル、レストラン、駅、電車等の不特定多数の人が集まる場所で、すり、置き引きの被害に遭うケースが多く見られますので十分注意してください。

### <すり、置き引き対策>

- 空港、ホテル、レストラン、駅、電車等で荷物から目を離さない。  
犯人たちは、皆さんが荷物から目を離す一瞬の隙を狙っています！
- 知らない人(犯人)に急に話しかけられても、バッグや貴重品から目と手を離さない。  
犯人たちは、「急に話しかける」、「(共犯者が付けた)クリーム等の衣服の汚れを親切に拭き取ろうとする」、「電車で小銭をばらまく」等して、皆さんの注意を逸らしてバッグや貴重品を盗んでしまいます！

### 3 交通事故情勢

- (1) ドイツでも日本と同様に多くの交通事故が発生しており、2018年にドイツでは約30万件（死者3275人、負傷者約40万人）の人身交通事故が発生しています。日照時間が徐々に短くなる9月以降は、朝夕のドライバーの視界が悪くなりますので、交通事故に十分注意してください。
- (2) ドイツでもEスクーターをよく見かけるようになりましたが、Eスクーターによる歩道走行や信号無視等の交通違反が問題となっており、Eスクーターが絡む交通事故も発生していますので注意してください。なお、ドイツにおいて、Eスクーター等の電動小型車やペデレック、S-ペデレックに対する法規制は以下のとおりとなっています。

ドイツ	電動小型車 (Eスクーター、セグウェイ等)	ペデレック (電動アシスト自転車)	S-ペデレック (スピード電動アシスト自転車)
年齢制限	14歳以上	なし	16歳以上
運転免許	不要	不要	原付免許必要
保険加入義務	あり	なし	あり
最高速度	20km/h	25km/h	45km/h
走行車線	自転車道(又は車道)	自転車道(又は車道)	車道
ヘルメット着用義務	なし	なし	あり
アルコール制限	あり	あり	あり
赤信号違反	あり	あり	あり

### 4 テロ情勢

- (1) ドイツにはテロの潜在的な脅威が依然として存在しており、本年に入ってから治安当局によるテロ関連事件の摘発が相次いでおり、注意が必要です。
- 本年9月9日に治安当局は、過去にイスラム国(IS)に加わった容疑等でハンブルク市内において女性1名を逮捕
  - 本年9月11日に治安当局は、テロ組織に資金供与した容疑等でハンブルクやリュューベック等の北ドイツ16か所で一斉摘発を行い、ハンブルク市内で男性1名を逮捕、リュューベック近郊で男性1名を逮捕
- (2) テロの発生を予測することは困難ですが、普段の心がけや心構えによって、テロに巻き込まれるリスクを軽減し、万が一テロに巻き込まれた場合でも被害を最小限に抑えることができます。

### <リスク軽減>

- 外務省海外安全ホームページや渡航先の日本大使館又は総領事館のホームページ、テレビやラジオ、新聞等の報道に注意を払い、渡航先の安全情報を収集し、テロの危険のある国・場所・期間・時間等を避けて行動する。
- テロの標的となりやすい場所を理解する。  
記念日等のイベント会場、観光施設、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケットなど人が多く集まる施設、教会やモスク等の宗教関連施設、公共交通機関や軍・警察等の政府関係施設等
- 渡航先で不測の事態が発生した場合に、最新情報の入手が可能となるように、在留届の提出または「たびレジ」の登録を必ず行う。

### <テロに対する心構え>

- テレビやラジオ、新聞等の報道に注意を払い、最新の治安・テロ情勢等の関連情報の収集に努める。
- 不測の事態の発生を念頭に会場や施設内では避難経路等をあらかじめ確認する。
- 不審な人物や状況を察知したら、速やかにその場を離れ、自身の安全確保を最優先する。
- 爆発音や銃撃音を聞いたら、その場に伏せる。または頑丈なもの陰に隠れる。
- 周囲の状況を確認し、可能であれば、低い姿勢で銃撃音等のする現場から速やかに離れ、安全な場所に避難する。

## 5 在留届の提出、「たびレジ」の登録のお願い

- (1) 海外に3か月以上滞在される方は、旅券法第16条によりその地域を管轄する日本大使館又は総領事館に速やかに「在留届」を提出することが義務付けられています。住所が決まり次第「在留届」の提出をお願いいたします。緊急事態発生時には、提出された「在留届」をもとに日本大使館又は総領事館が安否確認や支援活動等を行います。
- (2) 海外に3か月未満滞在する方は、日本大使館又は総領事館の緊急連絡や安否確認を受けられるようにするため、「たびレジ」の登録を忘れずに行ってください。
- (3) ドイツ国外にご旅行の際にも、旅行先について「たびレジ」の登録を行ってください。在留届の提出と「たびレジ」の登録はオンラインでご利用いただけます。

QRコード：



URL：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

アクセスはこちらから! ↓ ↓



# 外務省プレゼンツ 新企画!!



海外安全クイズ 検索

3択クイズで10問解けばあなたの海外旅行が10倍安全に! ?

#ケンコバ大使が教えます #スマホで手軽に学べる♪  
#企業・学校の海外安全教育にも!

諸君は全問解けるかな?

## 海外安全 クイズ



### 外務省×ケンコバ大使

-おかずクラブさん、デューク東郷さんをお迎えして-

#### クイズ例

**Q** : 観光地となっている広場を散歩していると、「あなたの背中にソフトクリームをつけてしまった」と話しかけられました。あなたがとるべき対応として、最も適切なものはどれでしょうか??

- ① 自身の貴重品や持ち物に注意を払いながら、素早くその場を立ち去る。
- ② 一緒に警察に行き、クリーニング代を負担するよう交渉する。
- ③ 親切に拭いてくれるので、しばらくそのまま立っている。

**A** : 正解は... ①

解説: ソフトクリーム、ケチャップやマスタードなどを、わざとあなたの眼につけた後に親切に拭くそぶりをみせて注意をそらし、そのスキを狙って財布・スマホやカバンの中の所持品をすり取られる事案が多く報告されています。

お問い合わせ先: 外務省 領事局 邦人テロ対策室 総務班  
〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1 03-3580-3311 (内線 3047) ryoutai@mofa.go.jp